



# 山あたり日

学校ホームページ <http://www.higashikurume-school01.jp/~minami-e/>

令和4年度学校だより10月号  
令和5年9月29日  
東久留米市立南町小学校  
校長 永瀬 功二  
TEL 042 (461) 2662

## 「する・観る・支える」南町運動会 お待ちしています

校長 永瀬 功二

朝晩の涼しさや虫の音に少しずつ秋の訪れを感じられるようになってきました。一方で昨日は最高気温が30度を超える「真夏日」となり、東京ではこの夏90日目の真夏日と過去最高を更新しました。これまでにない猛暑の夏に大変な思いをしましたが、そんな夏に私たちの心を熱くしてくれたのが、様々なスポーツでの日本人選手の活躍でした。

アメリカの野球メジャーリーグでは、エンゼルスの大谷翔平選手が今シーズンのホームラン王やMVPの候補に挙げられるほどの大活躍を続け、私も毎朝テレビで「今日のショウヘイ」の活躍を見ることを楽しみに、この夏大いに励まされていました。



また、バスケットボールでは、日本代表チームが長い間「世界の壁」になかなか太刀打ちできなかったところ、この夏沖縄で行われたワールドカップでは、チームで目標を共有し、力を合わせて粘り強く戦うことで、世界の強豪チームと時に互角に渡り合う大活躍を見せてくれました。テレビで観戦しながら、得点の瞬間には思わず声を上げて共に喜び合い、明日への元気をもらいました。

そんなスポーツの楽しみ方については、2021年の東京オリンピック・パラリンピックを契機に「する・見る・支える・学ぶ」という視点が示されました。

それまでは運動の楽しみ方は主に「自分が運動すること」と捉えられていましたが、より豊かな人生を過ごすために、「する」だけでなく、「観る（観戦したり応援したりする）支える（運営したり協力したりする）学ぶ（運動について知る）」などの多様な関わり方が推奨されています。

明日は本校で第48回運動会が行われる予定です。子供たちは「する」立場として、自分の学年の表現種目やかけっこの練習に今日まで熱心に取り組み、明日の本番を楽しみにしていることと思います。そして自分の出番以外では、「観る」立場として他の学年の演技・競技を応援しながら大いに楽しむことでしょう。

また、運動会を「支える」立場として、6年生を中心に応援団や全校競技、準備運動・整理運動などの場面や会場のあちこちで係として運動会を支える姿が見られます。全校の子供が自分の席から友達を大きな声で応援することも、演技・競技をしている子供を支える大きな力になります。



退場時にはぜひ大きな拍手を

今年は4年ぶりに全校競技「大玉送り」も復活し、保護者の皆様にはご自分のお子さんの出場時間以外も周りでご鑑賞いただけるようにいたしました。ぜひ「観る」と併せて、子供たちを「支える」仲間のお一人として、子供たちが満足感や達成感を鮮やかに心に刻めるように 大きな声援を送っていただき、決めポーズや頑張った後には大きな拍手を送っていただければ幸いです。